

2026年6月29日

南極観測70周年記念 特別展「大南極展」に協賛

- 日本の南極地域観測事業70周年を記念し、7月1日（水）より日本科学未来館で開催
- 1968年の第10居住棟受注以降、建築支援および隊員派遣などに携わり、南極地域観測事業を支援
- 8月22日（土）開催 大南極展関連イベント「夏休み自由研究フェス ～おしえて！南極観測応援隊～」に参画予定



特別展「大南極展」メインビジュアル

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 作尾徹也）は、2026年7月1日（水）から9月27日（日）まで日本科学未来館（東京都江東区）で開催される南極地域観測事業70周年記念 特別展「大南極展」に協賛します。

南極は人間活動の影響が非常に少なく、地球本来の姿が保たれています。そのため、現在の地球環境や将来の気候変動を理解するための重要な研究拠点として位置付けられています。日本の南極地域観測隊は長期にわたり、氷床や海洋、大気の循環などを集中的に観測し、地球規模の気候変動メカニズムの解明に貢献してきました。

特別展「大南極展」は、南極地域観測事業の70周年を記念し、これまでの観測活動や挑戦を紹介する体験型の展覧会です。来場者は「特別南極観測隊員」として、壮大な映像や多彩な体験展示を通じて、観測隊の多様なミッションを疑似体験できる構成になっています。

ミサワホームは、1968年の第10居住棟受注以降、累計36棟（延床面積約5,900㎡）の建物を提供。1975年からは建築のプロとして社員を観測隊に派遣^{※1}し、延べ31名が現地での建設やメンテナンスに携わるなど、南極・昭和基地の建物建設を支えてきました。当社が半世紀以上にわたり南極地域観測事業に携わり続けてきたのは、南極地域観測や極地科学が地球環境の理解と持続可能な社会の実現に不可欠だと考えてきたからです。このたび当社は、未来の地球について考え、リアルな学びを体験できる本特別展に共感し、協賛を決定いたしました。

会期中の8月22日（土）には、大南極展関連イベント「夏休み自由研究フェス ～おしえて！南極観測応援隊～」に協賛企業各社とともに参画し、トークイベントやワークショップを通じて「南極のしごと」を分かりやすく紹介する予定です。

ミサワホームは、本特別展への協賛やイベントを通じて、次世代の育成と地球環境への理解促進に貢献するとともに、今後も南極建築や観測隊への社員派遣を継続し、極地科学の発展と持続可能な社会づくりを支援してまいります。

※1：大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所（極地研）に出向したうえで観測隊に参加。

■特別展「大南極展」開催概要

会 期	2026年7月1日（水）～9月27日（日）
会 場	日本科学未来館（東京都江東区青海2丁目3番6号）
開 館 時 間	10:00～17:00（入場は閉館の30分前まで）
休 館 日	7月7日（火）、7月14日（火）、9月1日（火）、9月8日（火）、9月15日（火）
入 場 料 金	大人〔19歳以上〕：2,000円（1,800円） 18歳以下〔小学生以上〕：1,300円（1,100円） 未就学児〔3歳以上〕：900円（700円） ※（ ）内は前売および8名以上の団体料金。前売は、6月30日（火）23:59まで販売予定。 ※2歳以下は無料。
主 催	日本科学未来館、国立極地研究所、ドリームスタジオ、テレビ朝日、朝日新聞社
特 別 協 賛	KDDI
協 賛	三機工業、ミサワホーム、ヤンマーホールディングス、レンゴー、東京農業大学
後 援	文部科学省、外務省、環境省、防衛省、気象庁、海上保安庁、国土地理院、 情報通信研究機構、東京都教育委員会、立川市教育委員会、東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ
協 力	東急電鉄
公 式 サ イ ト	https://dainankyokuten.jp
お問い合わせ	大南極展事務局 03-6820-4071（開館日 10:00～18:00）



本物の南極の水に触れる体験エリア



ブリザードの様子 ©国立極地研究所



標本展示を間近で見られる観察ドーム



南極での海洋調査の様子 ©国立極地研究所



昭和基地で振る舞われる食事のサンプル
©東京農業大学「食と農」の博物館



オーロラの光に包まれながら歩くエリア

※一部画像はイメージです。

■大南極展関連イベント「夏休み自由研究フェス ～おしえて！南極観測応援隊～」概要

特別展「大南極展」では、協賛企業各社が連携した関連イベント「夏休み自由研究フェス ～おしえて！南極観測応援隊～」を開催いたします。本イベントでは、実際に南極地域観測を支える協賛企業の担当者や南極地域観測隊の経験者が登場し、普段はなかなか知ることのできない「南極のしごと」を、トークイベントやワークショップを通じて分かりやすく紹介します。夏休みの自由研究のヒントにもつながる、1日限りの特別イベントです。本イベントは、特別展「大南極展」のチケットをお持ちでない方も無料でご参加いただけます。

日 時	2026年8月22日（土）10:15～16:30（終了予定）
受 付 場 所	日本科学未来館7階 コンファレンスルーム水星前
会 場	日本科学未来館7階 コンファレンスルーム水星、火星、金星
対 象	小学生とその保護者
参 加 費	無料

ミサワホームの出展プログラム詳細

1. トークイベント：「～昭和基地の『たてもの』のおはなし～ ものすごく寒い南極のたてもののひみつ」

最低気温マイナス40℃を下回ることもある南極・昭和基地。その過酷な環境のなかで、なぜ建物内では快適に過ごせるのでしょうか。建物の構造や工夫を楽しく解説します。熱の伝わり方を体感する実験や、建物の強さの秘密に触れる体験などを通して、南極における建築の秘密を発見するプログラムです。

登壇者	ミサワホーム総合研究所 領域創生センター 岡本 裕司（おかもと ゆうじ） ※第66次南極地域観測隊へ参加
日時	2026年8月22日（土） ①11:45～12:15 ②15:45～16:15
受付場所	日本科学未来館7階 コンファレンスルーム水星前
会場	日本科学未来館7階 コンファレンスルーム金星
定員	各回48名（保護者含む）
申込方法	当日10:00より、受付にて整理券を配布いたします



トークイベント イメージ

2. ワークショップ：「みんなで建てる南極基地！」

もし自分が南極地域観測隊の一員であれば、どのような建物をつくるのでしょうか。ヘルメットを着用し、南極・昭和基地の建物にも採用されている「木質パネル接着工法」の技術を肌で学びながら、高さ約140cmの基地の組み立て体験に挑戦します。現地で使われた金物にも触れながら、極寒の地で人々の暮らしを支える建築の工夫や知恵を楽しく学べる体験型ワークショップです。完成後には「ちびっ子南極大工認定証」をプレゼントいたします。

日時	2026年8月22日（土） ①10:30～11:30 ②12:45～13:45 ③14:15～15:15
会場	日本科学未来館7階 コンファレンスルーム水星
定員	1回あたり最大8名（保護者含まず） ※保護者の皆さまは会場内でご見学いただけます
申込方法	事前申込による抽選制
受付期間	2026年6月24日（水）～8月3日（月）
詳細情報	申込方法などは、特別展「大南極展」公式サイト (https://dainankyokuten.jp) をご覧ください



組み立て体験ワークショップ 実施風景

イベント内容・時間等は変更となる場合があります。最新情報は特別展「大南極展」公式サイトにてご確認ください。

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 管理本部 広報・渉外部 コーポレートコミュニケーション課 有川太郎 岩井須美佳
TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838 / E-mail : koho@home.misawa.co.jp

未来をまちづくりの **PLT** Group

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくりの PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、顧客課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

※プライム ライフ テクノロジーズ(株)は、2020年1月にパナソニック(現パナソニックホールディングス)とトヨタ自動車が発立し、三井物産を加えた3社を株主とする会社です。